

マテリアリティ特集の発刊に際して

常務執行役員
CSO 兼
グループ戦略推進室長

末 松 正 之
Masayuki Suematsu



マテリアリティ特集の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

昨今の環境問題をはじめとした地球規模の社会問題はますます多様化・複雑化し、企業活動においても持続可能な社会の実現に向けた事業活動の必要性が増しています。

三菱重工グループは、「長い歴史の中で培われた技術に最先端の知見を取り入れ、変化する社会課題の解決に挑み、人々の豊かな暮らしを実現する」というミッションを掲げております。こうした現代の社会課題の解決を通じて企業価値を向上させるため、社会に与える影響度と、当社事業に与える影響度の大きさの2つの観点から5つの重点課題、すなわち「マテリアリティ」を2020年に特定しました。

本号では、当社グループのマテリアリティの中から、「脱炭素社会に向けたエネルギー課題の解決」、「AI/デジタル化による社会の変革」、「安全・安心な社会の構築」の、事業を通じて課題解決に取り組む3つのカテゴリに関わる成果を論文に纏め、紹介します。

「脱炭素社会に向けたエネルギー課題の解決」については、ヒートポンプ技術による高効率なEVトラック用冷凍機の開発事例と、アンモニア利用促進に関わる技術の開発状況を紹介します。

「AI/デジタル化による社会の変革」については、深層学習モデルを用いたエネルギー需要予測に対する結果の解釈と改善策を立案する説明性付与・性能改善機能と、Σ SynX を核としたインテリジェントソリューション TOMONI の活用と、ソフトウェアのセキュリティ対策強化に向けた脆弱性の確実な抽出と対策立案を迅速に行う管理手法を紹介します。

「安全・安心な社会の構築」については、3次元点群データを用いた大規模市街地モデル化技術の開発と防災シミュレーションへの展開に向けた検討と、乳幼児の送迎バス内での置き去り防止システム“Mikke”を紹介します。

これからも私どもの活動に対し、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。